

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	身体拘束適正化の取り組みとして玄関やエレベーターを開放し、入居者の行動の制限にならないように努めているが、管理者の出勤日にしか実践ができておらず、管理者が不在時には施錠している現状があり、完全に開放しているとは言い難い。	管理者の出勤に関係なく、毎日同じ時間帯には開錠され、入居者が自由に行き来できるような環境を目指す。(常時8:00~18:00の開錠)	身体拘束廃止委員会を中心に、施錠が習慣化している職員の意識を変えていくと共に、開錠によるリスクについて十分な検討を行い、安全対策を施す。	6ヶ月
2	11	開設から3年近くが経過し、事業所の取り組みとしては、入居者や家族から良い評価をもらえているが、職員のやりがいや満足度についての取り組みが足りないのか、離職した職員も多く定着率が低い現状がある。	職員が意見を言いやすく、また、やりがいのある職場の創造を目指し、職員の定着率を上げる。	管理者と職員との定期的な面接や会議前の意見の聞き取りを継続しながら、さらに無記名のアンケートなどによる職員の満足度調査を行い、職員の意見が運営に反映されるような仕組みを確立させる。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。